



コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

GO!GO!スポーツ!2018 コミキングを越えろ!

5月5日子どもの日、コミセンわじろ3階の体育館にて無料のスポーツイベント「GO!GO!スポーツ!コミキングを越えろ!」が開催されました。会場内で準備されている4つの種目にまず挑戦。全てクリアしたら迷路の森を抜けて、記録保持者のコミキングが待つ会場へ。コミキングの記録を超えるチャレンジができるという趣旨で行いました。

当日は好天にも恵まれ、150名の親子が来場。4つの種目に果敢に挑戦する子どもたち。もちろんお父さんお母さんも参加す

るなど、親子で楽しむ姿も見られました。また、挑戦権を獲得してコミキングに挑戦するコーナーでは、コミキングの記録55秒を超えようと一生懸命に競技をする参加者の姿が印象的でした。コミキングとのハイタッチで終了すると、自分の記録に一喜一憂する人、景品でもらえたボールに夢中になる人、再戦を行う人など、スポーツを通して楽しんでいるみなさんの素敵な表情を会場のスタッフは嬉しく拝見いたしました。



▲ コミキングとの撮影。



▲ 4つのゲームクリアで、コミキングに挑戦。



▲ コミキングとハイタッチしたらゴール!



▲ 記録は貼り出され、何度でも挑戦OK!



応援課だより — 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

「一人一花」運動 福岡市の活動をPR!

福岡市では、市民の一人ひとりがあらゆる場所で花と緑を育てる取り組み、「一人一花」運動を展開中。この運動をPRするための土に刺せるロゴプレートを受付にて配布中。おうちの庭先や、地域の花壇など、気になる場所に是非表示ください。また、福岡市には地域を緑にす

る活動を支える「福岡市『緑のまちづくり協会』助成制度」もあります。お役立てください!

ご相談やお問合せはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info



▲ ロータリー前の花壇の写真



公式HP facebook

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28 ~ 1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中!

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

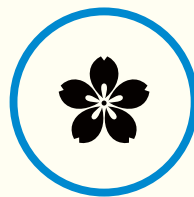
wajico ^[ワジコ] vol. 21 2018 Summer

pick
up

わじろじまん 三苦海岸の「平岩(赤岩)」

わじろ元気印 和白・奈多・美和台なぎなたクラブ





地域 文化

わじろじまん — 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介します —

三苦海岸の「平岩(赤岩)」 美しい自然の記憶。



- ① 現在(2018年5月)の平岩(赤岩)の全体像
 ② 約60年前の写真。右側、三苦海岸に当時の岩が写っている。(三苦公民館 副田館長提供)
 ③ ②の写真とほぼ同じ地点から撮った写真。手前まで砂が積み、平岩は小さく残るのみ。近くで見ると別名「赤岩」の由来である赤い色の岩が見える。

表紙の写真は、三苦公民館の館内に飾られている墨絵の一部です。かつて三苦海岸には、松が茂り、牛をつないでおけるほどの巨大な「岩」があったそうです。当時の三苦海岸を知る地域のみなさんは、その岩のことを「平岩(赤岩)」と呼んで覚えていらっしゃる。平岩は、現在はどうなっているのか。今回のわじろじまんは、平岩の記憶に代表される、三苦海岸の自慢をご紹介します。

絵や写真に残る、巨大な赤い岩

墨絵が書かれた詳しい年代は不明ですが、地元の堺登美次さんが画いたもので、公民館に寄贈されたものです。かつて、海岸と陸続きだったという「平岩」のことが、絵と言葉で記されています。1949年(昭和24年)の三苦上空からの航空写真でも、海岸にあった大きな岩の形が確認できます(情報提供:「がんばれ! 赤岩」HP)。岩の名称は、かつての姿、当時を知る人は「平岩」、最近では粘土質の赤い色の岩から「赤岩」と呼ばれています。

現在の平岩の姿を確認して来ました。公民館から徒歩で10分、松原の道を抜けて三苦の浜に出ると、人が横たわって

るほどの大きさになった赤い岩の存在を確認できました。かつて島とも呼べそうなぐらい大きかった岩は、長年の侵食と砂に埋もれ、とても小さくなっています。

貴重な宝、美しい自然を保全する

かつての平岩のこと、現在の海岸のことを、三苦校区の社会福祉協議会会長の飯田信義さんにうかがいました。かつて平岩は子どもの格好の海の遊び場であり、魚釣りをして過ごしていたそうです。「子どもたちも遠足のときは必ず訪れる場所だったから、地元で知らない人はいなかった。あんな大きなものがなくなるのは、自然の力とは言ってもさみしいですね。」歩くとキュッキュと音がする粒が細かい「鳴き砂」、周辺の松原など、美しい貴重な自然が残る三苦海岸。近年では遠浅の海がサーフィンに向いていると、三苦に移住して来る人もいます。この海岸は、農産物のイチゴと並ぶ、三苦の自慢、自然の遺産で、切手になる程の風景です。平岩は小さくなりましたが、他は守らないといけない。地域では『玄界



約60年前に撮影



現在の三苦海岸

灘を守る会』で、毎月第3日曜日に海岸清掃を行っています。また今年は6/24にラブアースの清掃があります。地域のみなさんと、この海と自然を守っていききたいですね。(飯田さん)」



▲ エリアマップ



この方に聞きました!

飯田 信義さん

三苦校区
社会福祉協議会 会長



地域 団体

わじろ元気印 — この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

和自・奈多・美和台なぎなたクラブ 受け継がれる武道。



▲ 和自公民館武道場での練習風景。

日本の伝統的な武道「なぎなた(薙刀)」は、近年その魅力に再び注目が集まっています。「和自・奈多・美和台なぎなたクラブ」は、50年以上にわたり、地域でなぎなたの素晴らしさを伝え続けている存在です。指導を行っている砂川邦子さんに、活動の話をうかがいました。

なぎなたが地域に根付いた経緯は?

東京オリンピックの頃(1960年代)、全国でも珍しかったなぎなたのスポーツ少年団が結成されます。和自地域は当時から相撲や剣道など武道が盛んであり、な

ぎなたもそのひとつでした。私の母(砂川碧さん、90歳を超える現在も生徒を指導)が和自小学校や公民館でなぎなたを指導しており、その教え子たちが国体に出たりすることで、地域でもなぎなたが根付きました。和自地域、そしてとびうめ国体(平成2年)の競技会場となった須恵では、現在も中学生、高校生でなぎなたを習う生徒たちが多くいます。

現在の活動について教えてください。

毎週土曜日、美和台では地域の小学生や中学生が約30名集い、指導や練習など

活動をおこなっています。木曜日は雁ノ巣の児童体育館、金曜日は和自公民館武道場で、地域の70代のみなさんとともになぎなたの指導や練習を行います。「礼にはじまり、礼に終わる」精神を大切にしながら活動しています。

今後の活動について教えてください。

地域のみなさんとともに歩んでいるので、娘にもやらせたい、おばあちゃんもやっていた、ママになった私もまたやりたい、など世代を超えてなぎなたを習う人も多いです。お母さんたちも参加できるような場を設けたいなと。また9月には県民大会が行われる須恵で公開競技や、体験ができる試みも行います。なぎなたという武道の魅力を広めたい。これからでも参加できます。興味を持たれた方は、見学など是非お越しください。



この方に聞きました!

砂川 邦子 さん

和自・奈多・美和台
なぎなたクラブ 代表



コミセン活用術 — 私たちの施設を使って、もっと身近に —

指定管理者企画事業 どなたでも気軽に参加できます

コミセンわじろでは、地域交流の機会となるさまざまな企画やイベントを計画。例えば、昨年12月と今年1月に行った『わじろ映画館』は今年度も計画中です。またスポーツでは秋の『シニアトライアスロン』、楽しく参加できる講座、ママの教室など、いろんな企画を行います。地域のみなさま、是非ご参加ください。詳細はコミセンHPや公式Facebookで。最新情報をゲットしたい方は、Facebookへの「いいね!」もお忘れなく!

これからの主な予定 ※2018年5月の情報です。変更の場合もございます。

- ピラティスダイエット教室(ボディリメイク)《6/22スタート》NEW
- わじろ映画館(声を出して観る映画)《8/9予定》
- わじろ地域大学(地域とのつながりをつくる講座)《夏頃予定》NEW
- シニアトライアスロン(楽しく健康づくり)《10/8予定》
- シビリンピック(市民のオリンピックイベント)《秋頃予定》NEW



▲ 体育の日に実施したシニアトライアスロン。